

＜テーマ＞ 学習過程の段階に「いかしたい」を取り入れた取組

(大崎市立古川第五小学校)

1 「算数ステップアップ5」を意識しながら授業に取り組むために、研究授業の学習指導案の学習過程の段階に、「ときたい」「つたえたい」「いかしたい」を取り入れた。「いかしたい」は「まとめる」段階の適用問題の時間ととらえ、児童が意欲をもって取り組めるよう、問題数が異なる二つのコースを設定し、児童に選択させて取り組ませた。

(1) 第3学年2組の学習過程の例 (TT)

段 階	主な学習内容		指導上の留意点	
	○発問 ◇指示 ・予想される児童の反応		【手立て】	※評価
い か し た い	ま と め る	5 適用問題に取り組む。(全8問) (1) コースを選ばせる。 ◇じっくりコースは①③⑤⑦, どんどんコースは全問に挑戦してみよう。 (T1採点, T2個別指導)	・8問ある適用問題の4問コースを「じっくりコース」, 全問を「どんどんコース」として児童に選択させ, 下位群の児童にも意欲をもって問題に取り組ませるようにする。【手立て】 ・数直線図を見せながら「 $1+0.2$ 」の答えが0.3や3だと誤答であることを児童自らが気付けるようにすると共に, 数直線の有用性を実感させる。 ※小数第1位どうしの加法の計算ができる。 技 (ノート)	・児童の言葉で本時の学習のまとめをし, 振り返りをする。
		6 本時の学習の振り返りをする。 (1) 小数の計算のポイントを確認し, 振り返りをする。 ○今日, 学習した小数の計算のポイントは何か。 ・小数を0.1の何個分かで考える。 ・計算の仕方は整数と同じ。		

(2) 実践後の成果と課題

- ・教科書の適用問題を「どんどんコース」(8問), 「じっくりコース」(4問)に分けたことで, 児童が自分のできそうなコースを選び, やり遂げることができた。意欲的に取り組み, 達成感を味わうことができた。
- ・適用問題の後に「振り返り」をすることで, 計算の仕方を確認することができた。
- ・「振り返り」よりも, 「0.1がいくつ分」の押さえを学習のまとめでしっかり行ってから適用問題に進んだ方が児童の誤答を防ぐことができたのではないかと, という意見があった。